

「地域のつどい」が開催されました

(第17期8回目 子安通1丁目地区)

開催日：平成26年3月12日(水)

場所：子安通1丁目西浜会館

参加者：33名



第17期神奈川区民協議会8回目の「地域のつどい」が子安通1丁目地区で開催されました。

7年ぶりの「地域のつどい」開催となった子安通1丁目地区は、京急子安駅の南側に位置し国道15号線の両側に広がって、昔からの漁師町の面影が残る地域に5つの町内会を擁します。入江川第二派川沿いの浜通りからは係留されているたくさんの船が見え、人々が生活道路

としている家々の間を縫うように走る小道は、見知らぬ人が通るとすぐに分かる、とのことで防犯効果は絶大です。一方、最近マンションや企業の事務所も増えており、新しく転居してきた人々との連携が模索されています。

近隣地区の小学校に通い、近隣地区の商店街を利用する人が多いため、大変広範に亘ってご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

①子安通1丁目地区と大口通り方面を結ぶ、JR

下を通る地下道のバリアフリー化について

②国道15号線入江橋交差点の歩道橋の老朽化、またバリアフリーではないので自転車の横断に危険が伴うことについて

③国道沿いの歩道や植え込みにごみが散逸する問題

④町会の役員の継承、育成について

⑤放置自転車の対処についての問題

⑥路側帯の上に駐車車両が絶えず、歩行者が危険であることについて

⑦マンションについて、ごみ置き場の問題、町会未加入の問題

⑧入江川の汚れについて

⑨町内の世帯数が減少し、町会の活動が成り立たないことについて

⑩国道沿いの歩道に自転車と歩行者分離の線を引くことについて

この他にもたくさんのご意見をいただきました。

子安通1丁目地区の皆さま、ありがとうございました。

